

- 問1 打消／直前「散ら」は四段動詞「散る」の未然形なので打消の「ず」。活用形は連体形（下の「春」という体言に連なる）。
- 問2 完了／終止形（文末で言い切っている）。現代語訳「日もしだいに暮れてしまった（暮れた）。」直前「暮れ」は下二段「暮る」の連用形なので完了。
- 問3 打消／直前「知ら」は四段「知る」の未然形であり、さらに直後が「ば」であることから、打消「ず」の已然形「ね」と判断できる。
- 問4 已然形（「ね+ば」で順接の確定条件「～ないので」を表す）。
- 問5 完了／命令形。現代語訳「さあ、早く出てしまえ。」直前「出で」は下二段「出づ」の連用形なので完了「ぬ」の命令形「ね」。意味は強調・完了の命令で「～てしまえ」。
- 問6 打消／直前「知ら」は四段「知る」の未然形なので打消「ず」の連体形「ぬ」（下の「道」という体言に連なる）。現代語訳「知らない道をたどる」。
- 問7 完了／終止形。直前「聞き」は四段「聞く」の連用形なので完了の「ぬ」。
- 問8 打消／現代語訳「思いもかけない人が来た。」直前「かけ」は下二段「かく」の未然形なので打消「ず」の連体形「ぬ」。
- 問9 完了／命令形。直前「暮れ」は下二段「暮る」の連用形なので完了「ぬ」の命令形「ね」。「暮れねかし」で「暮れてしまえよ」の意。
- 問10 完了／連体形。直前「鳴り」は四段「鳴る」の連用形なので完了「ぬ」。下の「のち」という体言に連なるので連体形。「鐘が鳴ったのち」の意。
- 問11 完了／已然形。傍線部は「ぬれ」+「ば」で、完了「ぬ」の已然形「ぬれ」にあたる。直前「書き」は四段「書く」の連用形なので完了。「ば」がつくので順接の確定条件「書いてしまうと」の意。
- 問12 打消／直前「知ら」は四段「知る」の未然形であり、直後が逆接の「ど」であることから、打消「ず」の已然形「ね」。
- 問13 完了／終止形。直前「吹き」は四段「吹く」の連用形なので完了の「ぬ」。根拠＝連用形接続。
- 問14 打消／連体形。直前「言は」は四段「言ふ」の未然形なので打消「ず」の連体形「ぬ」（下に準体の「が」が続く）。
- 問15 完了／命令形。直前「寝」はナ行下二段「寝（ぬ）」の連用形「寝（ね）」に接続する完了「ぬ」の命令形「ね」。「とく寝ね」で「早く寝てしまえ」。
- 問16 現代語訳「早く寝てしまえ。」（完了+命令で「～てしまえ」の意。）
- 問17 打消／直前「長から」は形容詞「長し」の未然形（カリ活用「長から」）であり、直後が「ば」であることから、打消「ず」の已然形「ね」。

問18 完了／終止形。直前「忘れ」は下二段「忘る」の連用形なので完了の「ぬ」。意味は「忘れてしまった」。

問19 直前の語の活用形で見分ける。直前が未然形なら打消「ず」の連体形「ぬ」、直前が連用形なら完了「ぬ」の終止形「ぬ」である。(例：散らぬ=未然形+ぬ=打消／吹きぬ=連用形+ぬ=完了)

問20 こちらも直前の活用形が決め手。直前が未然形で、多くは「ね+ば／ど」の形なら打消「ず」の已然形「ね」。直前が連用形で、命令・強調の文脈（～てしまえ）なら完了「ぬ」の命令形「ね」である。